

令和４年度調査研究委員会 実践報告シート

学校名（仙台市立長命ヶ丘中学校） 名前（服部 美砂子）

〔実践報告Ⅰ〕「フレッシュ先生校内研修」において工夫した取組

<校内研修の研修内容・研修方法の工夫>

校内のフレッシュ先生研修としては、４月に計画された「実施計画」に沿って１２０時間の様々な研修が順次行われている。講話が中心であったり、理論を学んだりする研修が多いため、調査研究委員として企画するOJTは実践力を向上させるための内容にしたいと考えた。

そこで、フレッシュ先生の３人にどんな実践力を身に付けたいか事前にインタビューしたり「ＯＪＴ希望アンケート」を採ったりして、本人たちが直近で必要としている力を身に付けさせるための企画を考えた。考えた企画内容は「ＥＸＣＥＬの便利機能について」「個別の支援計画の作成の仕方」「Ｃ４＋ｈの機能について」「特別活動や行事の意義と運営の仕方について」「効率よく時間を使い、仕事を進める方法」「私は新任時代に実は・・・（座談会）」の五つである。この中から、夏休み中に日程を調整し、「ＥＸＣＥＬの便利機能について」「個別の支援計画の作成の仕方」「効率よく時間を使い、仕事を進める方法」の三つをＯＪＴとして行った。

<校内研修の指導教員の割り当ての工夫>

本校は小規模校で教員の人数も少ないが、その分個々の教員の得意分野を把握しやすい。ＩＣＴが得意な教員には「ＥＸＣＥＬの便利機能について」を、特別支援コーディネーターと特別支援学校の勤務経験者には「個別の支援計画の作成の仕方」を、要領良く仕事をこなしている職員には「効率よく時間を使い、仕事を進める方法」を、それぞれ二人ずつお願いして講座を開いてもらった。みんな得意分野の講師であることと、後輩をサポートしたいという気持ちがあり、夏休みであるにも関わらず快く引き受けてくれた。

<校内研修の形態の工夫>

①ＯＪＴの設定時期は「夏休み」とした。通常の学校生活の中では、放課後に部活動指導があるため、ＯＪＴの講座を設定するのが難しい。そのため、午前中に部活動を行った後に、午後に講座を設定することができる夏休みに集中してＯＪＴ企画を行った。

②ＯＪＴ企画を行う時間は「３０分程度」とし、講師も参加者も負担感を感じないようにした。

（しかし実際に講座が始まると、楽しくなってしまうほどの講座も時間をオーバーした！）

③対象は「フレッシュ先生の三人と参加希望職員」とし、経験年数が多い職員でも知りたい内容であれば参加できるようにＣ４＋ｈで周知した。

④講師二人が別々の日時にＯＪＴを行っても良いこととした。

例えば、「個別の支援計画の作成の仕方」の場合は、十一人が事前に個別の支援計画の作成の理論を教え、後日実際に作成された計画を見ながらもう一人が修正点を指導することにした。

⑤ＯＪＴの雰囲気を気楽で和やかなものになるように心掛けた。

フレッシュ先生自身が聞きたいことを積極的に聞ける雰囲気や、

講師や他の参加者も自分の経験談を気軽に話せたことがとても良かったと感じる。



<受講したフレッシュ先生や講師を務めた先生方の感想>

①フレッシュ先生の感想

- ・個別の支援計画の書き方について教えていただき勉強になった。次回以降は計画を見据えて支援や面談を行いたい。また、書いて終わりにせず、実際にそれに沿った指導を行いアップデートしていきたい。
- ・気持ちが楽になりました。やれることをやれるときに集中して取り組めるよう意識していこうと思います。
- ・大学ではほとんど利用しなかったExcelが、校務の効率化につながっていることが分かりました。関数の入力はまだ難しいですが、様々な機能があることを知ることができたので、今後も学んでいきたいと思っています。

②講師を務めた先生方の感想

- ・講話する内容をまとめながら、自分でも気付いていなかった行動に改めて気付かされた面もあり、自分自身の行動を振り返るいい機会になりました。
- ・業務に役立つExcel活用法を教える側となった私も関数の性質などを再び勉強する良い機会となりました。また、同席してくださった校長先生やもう一人の講師からその場で新しいスキルを伝授していただくなど私の成長にもつながりました。

[実践報告2]「若手教員の研修意欲を高めるための取組」において、実践した事例

- ・「校内研修振り返りシート」による目標設定と振り返り

7月にC4＋hにあるフレッシュ先生対象「校内研修振り返りシート」を使用した。三人のフレッシュ先生が、何を目標にして教員として頑張ろうとしているのか、どんな力量がまだ不十分だと感じているのかが分かった。今後、第2回の振り返りシートへの記入内容を確認し、サポートのOJTを考えたい。

- ・その他の取組

日程の都合で、「効率よく時間を使い、仕事を進める方法」の二人目の講師の講座が開けていなかったが、2月の放課後に実践することができた。机の引き出しの整理の仕方や、ファイルのまとめ方を実際に見せてもらいながら研修を行ったので、とても参考になった。

また、私が提案した企画ではなかったが、「いじめ実態把握調査」についての注意点を生徒指導主事が時間を設けて説明してくれた。このように校内の先輩職員全体でフレッシュ先生を支える取組を続けていきたいと思う。



[その他の実践]

- ・フレッシュ先生が生徒への日々の連絡事項をこぼさず連絡できるように、ONE NOTEに「本日の生徒への連絡」「生徒からの回収物」「先生自身の提出物」の欄を設け、連絡や提出物を理解しやすいように支援している。
- ・生徒指導で家庭へ連絡するときに、どんな内容を話すべきか学年主任や生徒指導主事と相談してから連絡するようにしている。